



ワイルドライフ カレッジ2025-2026

受講生 募集

「1年後の私は野生生物のために何かできるようになっている」姿を目標に、これから野生生物の保全に取り組みたい人、また活動や勉強をしながら疑問を感じた人に向けて、野生生物保全の全体を見渡して自分のスタンスを見定めるお手伝いをします。

夏講座

第1回

2025
7/23
水

ウェビナー
野生生物と人間の距離を考える①
～楽しさの背景と動物の立場を整理する～
講師：並木 美砂子（JWCS代表理事）

第2回

2025
8/20
水

ウェビナー
野生生物と人間との距離を考える②
～あなたは「誰に」「何を」「なぜ」気づいてほしいのか、それはどうしたら可能か、を整理する～
講師：並木 美砂子（JWCS代表理事）

第3回

2025
8/27
水

実地学習
『気づく』ための工夫とは？
場所：しながわ水族館
講師：並木 美砂子（JWCS代表理事）
参加費：500円（保険料・資料代として）
※入館料など実費は各自負担

冬講座

第4回

2026
1/14
水

ウェビナー
保全の考え方 人間側の対応をめぐって
講師：小川 潔（JWCS代表理事、東京学芸大学名誉教授）

第5回

2026
1/24
土

実地学習
都心で、人と自然の距離を考える
講師：小川 潔（JWCS代表理事、東京学芸大学名誉教授）
場所：東京 上野の不忍池
参加費：500円（実費は各自負担）

第6回

2026
2/4
水

ウェビナー
**ワイルドライフ・マネージメントと
野生動物管理**
講師：中村千秋（NPO法人 サラマンドフの会 代表）

第7回

2026
2/18
水

ウェビナー
野生生物保全の今と活動保全のヒント
講師：鈴木希理恵（JWCS事務局長）

ウェビナー

開催時間：20:00～21:30

開催方法 Zoomミーティング形式

※後日、録画視聴可能 申込締切：2月17日

受講料 学生無料、一般 1,000円/回

申し込みフォーム

学生専用



一般



世界野生生物の日 記念イベント

生物園 × 野生生物保全

— 現場の声を聞くフィールド・インタビュー —

2026 3/1 日

ワイルドライフカレッジを通して1年間学んだ視点を生かし、保全の現場の声に触れ、自身の保全への向き合い方を問い合わせ直します。

場所：足立区生物園

参加費：無料

※入園料、交通費等実費は各自負担

対象：ワイルドライフカレッジ2025-2026の全ウェビナーを受講した方

申込期間：2025年12月1日～2026年2月5日

定員：10名

講師：並木美砂子（JWCS代表理事）

夏講座の詳細

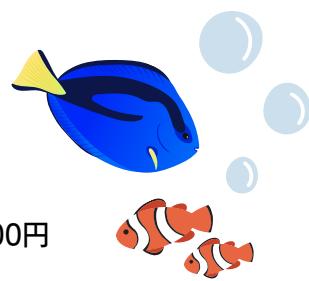


【申し込み】必要。受付期間：2025年6月1日～8月19日

【参加費】

- ・学生無料 ※第3回の実地学習の参加者は現地で500円（保険・資料代）を集金。
- ・一般：夏講座セット（第1回、第2回のウェビナーと第3回実地学習のセット）3,000円
- ・一般：ウェビナーのみ（第1回、第2回のセット） 2,000円

録画視聴期限 8月31日



ウェビナー

第1回 野生生物と人間の距離を考える①

～楽しさの背景と動物の立場を整理する～



日時：2025年 7月 23日（水） 20：00～21：30（録画あり）

講師：並木 美砂子（JWCS 代表理事）

内容：野生動物とのさまざまな接触・接近を含む利用（展示動物を観察する、アニマルカフェの利用、自宅での飼育など）を例に、人と動物の「距離感」について考察します。野生生物の利用形態を分類・整理し、それぞれの場面で私たちが感じる「楽しさ」の理由を分析するとともに、その際の野生動物側の状態を予想し理解を深めます。



ウェビナー

第2回 野生生物と人間の距離を考える②

～あなたは「誰に」「何を」「なぜ」気づいてほしいのか、それはどうしたら可能か、を整理する～

日時：2025年 8月 20日（水） 20：00～21：30（録画あり）

講師：並木 美砂子（JWCS 代表理事）

内容：「人と動物の望ましい距離」について、人の側が気づくべきこと、気づけるために必要なことを考えます。



実地学習

第3回 『気づく』ための工夫とは？

日時：2025年 8月 27日（水）

講師：並木 美砂子（JWCS 代表理事）

内容：水族館を見学しながら、人と生きものの「望ましい距離」を考えてもらえるための「水族館にあつたらいい情報とそれを伝える方法」を考えます。

場所：しながわ水族館

対象：第1回、第2回ウェビナー受講者

申込：必要（定員 先着15名 ※一般5名 学生10名）

参加費：500円（保険・資料代として）を当日集金

※水族館入館料、交通費等の実費は各自負担



冬講座の詳細

【申し込み】必要。受付期間：2025年12月1日～2026年2月17日

- ・学生無料 ※第5回参加の場合は現地で500円（資料・保険代）を集金
- ・一般：ウェビナー1,000円／回 ※第5回参加の場合は現地で500円（資料・保険代として）集金
- ・一般：冬講座ウェビナーセット（第4回、第6回、第7回） 3,000円
- ・録画視聴期限：2026年2月28日

ウェビナー**第4回 保全の考え方 人間側の対応をめぐって**

日時：2026年1月14日（水）20:00～21:30（録画あり）

講師：小川潔（JWCS代表理事、東京学芸大学名誉教授）

内容：自然保護や野生生物保全に際して、視点・考え方・価値意識の違いによって同じ言葉が対立概念になってしまうことがあります。そのような事例を、野生と放任・管理（事例：千駄木の森の管理方法）、餌付け問題（事例：不忍池における野生水鳥類への餌付け）・「報道機関の視点のズレ（餌付けをめぐる対立をあおるシナリオ）」、「生き物の名前」と自然観察手法などから求めてみましょう。まとめとして、もともとの自然の保護・保存・保全や生物多様性の考え方について立ち返ってこれらの問題の整理を試みます。

実地学習**第5回 都心で、人と自然の距離を考える**

日時：2026年1月24日（土）10:00～12:00

講師：小川潔（JWCS代表理事、東京学芸大学名誉教授）

内容：人と自然との距離を考える実例として、不忍池とそこにいる動植物、および人の観察を行います。また、資料による過去約60年間の不忍池の記録紹介を行います。

場所：東京 上野の不忍池

※雨天の際は直前に実施の可否を判断

対象：第4回ウェビナー受講者

申込：必要（定員10名）

参加費：500円（保険・資料代として）を当日集金

**ウェビナー****第6回 ワイルドライフ・マネージメントと野生動物管理**

日時：2026年2月4日（水）20:00～21:30（録画あり）

講師：中村千秋（NPO法人 サラマンドフの会代表）

内容：ケニアでは消費的な娯楽のための狩猟を禁止し、野生動物を国のもと法律で定めて保護し、観光に活かす政策を取っています。ケニアのワイルドライフ・マネージメントと日本の野生動物管理の違いを考えます。

ウェビナー**第7回 野生生物保全の今と活動のヒント**

日時：2026年2月18日（水）20:00～21:30（録画あり）

講師：鈴木 希理恵（JWCS事務局長）

内容：ワイルドライフカレッジ2025-2026の1年間の講義を振り返り、野生生物保全の現在の課題を整理します。そしてその解決に自分はどういう貢献できるかと一緒に考えます。

実践活動：世界野生生物の日 記念イベント**生物園 × 野生生物保全****— 現場の声を聞くフィールド・インタビュー —**

ワイルドライフカレッジで1年間培った視点を生かし、希少種の保全や飼育、ペット取引問題、ふれあい展示など、多様なテーマをもとに足立区生物園の取り組みを受講者自身が調べ、園長へ直接インタビューします。現場の声に触れ、自身の保全への向き合い方を問い合わせ直します。

日程：2026年3月1日（日）（雨天決行）

場所：足立区生物園

申込：必要（定員10名）

対象：ワイルドライフカレッジ2025-2026の全ウェビナー受講者。

PowerPointを使用できる方。事前オンラインミーティングに参加できる方

※事前オンラインミーティング実施日 2月20日（金）20:00-21:00

参加費：無料 ※ただし現地集合

募集期間：2025年12月1日～2026年2月5日



写真：ワイルドライフカレッジ
2024での活動

●お問合せフォーム
<https://www.jwcs.org/contact/>

●JWCSウェブページ
<https://www.jwcs.org/>